

第11回 札幌市河川環境推進会議

日時：令和元年12月16日（月）

13:30～16:30

場所：下水道河川局庁舎1階 大会議室

会議次第

- 1 開会
- 2 開会挨拶
- 3 委員・事務局紹介
- 4 座長の選出・決定
- 5 座長の職務代理者の指名
- 6 議事
 - 1) 過去の推進会議の概要と昨年度のご意見に対する対応について
 - 2) 今年度実施した事業について
 - 3) 第四期推進会議の取組について
 - 4) 今後実施する環境整備とその方針について
- 7 まとめ
- 8 閉会

概要は以下のとおり

●事務局からの説明

議事1 過去の推進会議の概要と昨年度のご意見に対する対応について

過去の推進会議の議事と昨年度の河川環境推進会議で頂いたご意見に基づいて行った対応報告

議事2 今年度実施した事業について

①普及啓発事業

河川事業パネル展、川の学習パネル展、いきもの観察会、川めぐりウォーキングツアー等、今年度実施した情報発信・普及啓発事業の実績報告

②環境整備事業

・創成川環境整備事業

事業概要、今年度の活動・調査結果報告

・トンネ川・ポントネ川環境整備事業

事業概要、昨年度～今年度の取組内容報告

・熊の沢川河川環境整備事業

事業概要、昨年度～今年度の取組内容報告

議事3 第四期推進会議の取組について

第四期において取り組む環境整備についての提案

議事4 今後実施する環境整備とその方針について

①落差工の解消～生き物に優しい川を目指して～

今後実施する落差工解消河川の選定条件と山部川の落差工解消事業について

②多自然川づくり

札幌らしい多自然川づくりのための方針及び河川環境整備案の検討について

③水辺のアクセス整備～公園との連携～

公園との連携事業として実施している旧中の川公園の環境整備について

④子供の創造性を豊かにする川づくり～小学校との活動～

小学生と連携して実施する活動について

●委員からの主なご意見

議事2 今年度実施した事業について

- ・川の観察会サポート：対象校を全市的に広げるような取組や展開は考えていないのか。
- ・創成川環境整備：ある特性だけ傑出しているような河川環境だとそれを好きな生物しかいなくなる。流速の早いところ、遅いところの分布が広がることによって、生き物の生息が多様になることが重要である。
：多くのごみが確認された問題についてどのように対応していくのか。

議事4 今後実施する環境整備とその方針について

- ・山部川での魚道整備：魚道整備後の事後調査にも取り組んでもらいたい。調査データに基づく評価も重要だが、子どもたちを巻き込むことができれば成功体験を共有できて良い。
- ・公園と連携した事業：旧中の川の整備後のイメージの写真を見ると、人が近づきやすい親水空間を目指したものであることは理解できるが、生物の生息状況とのバランスを考えるともう少し水際の工夫が必要なのではないかと。
：その場所の特性を踏まえて親水空間のデザインを変えていかないと、全て同じような親水空間になってしまう。
：親水性と水辺利用の安全について考える必要がある。それぞれの川の状況・条件によって運用は違うと思う。現在では、経験から学ぶという分けにはいかず、川には危険な側面もあることをどのように伝えていくのかが、考えていかなければならない。
：過去に整備した親水空間を検証し、これから実施する整備の参考にすることも必要だと考える。
- ・各整備事業共通：何故その河川で環境整備を行うのかその理由が大事である。

●当日の様子

